


 子どももおとなも水痘ワクチン接種のすすめ	1ページ
 糖尿病フポイントアドバイスぐっすり眠って、快適に過ごしましょう!	2ページ
 今月の植物を探せ! vol.12 / 今月のイチオシ図書 / 肥満教室開催のお知らせ / 「糖尿病教室7月」のお知らせ	3ページ
 「さよなら、中野先生」 / アレルギー教室のクッキング / 外来からのお知らせ / 外来診察のご案内	4ページ

子どももおとなも 水痘ワクチン接種のすすめ



水痘ワクチンは日本で開発されたワクチンです。三重大学小児科と三重病院はこのワクチンの臨床研究に早くから取り組んできました。水痘(水ぼうそう)にかかると死亡率が20～30%であった白血病やガンの子どもに、安全に水痘ワクチンが接種できるよう世界で最初に基準を作りました。この基準は現在の免疫の知識に合わせて変更されていますが、今でも用いられています。

この研究が発表されるまでは、免疫状態が悪い子ども(免疫不全児)への生ワクチン接種は禁忌でしたが、今では子どもの免疫状態に応じて生ワクチン接種が世界中で行われています。免疫状態を調べ、その結果で世界中のエイズの子どもの麻疹ワクチン(MMRワクチン)が安全に接種されています。また、骨髄移植を受けた子どもへも生ワクチンが安全に接種されるようになりました。

日本では、1歳を過ぎると水痘にかかるようになります。1歳になり麻疹風疹混合(MR)ワクチンを受けた後、引き続いて水痘ワクチンを勧められています。特に保育園に行っている子どもには強く勧められています。水痘ワクチンを受けた後、よく水痘にかかるという声を聞きます。ここ数年亀山の落合先生と水痘ワクチンの臨床研究を進めています。日本の水痘ワクチンの発症予防効果は60%程度ですが、かかっても軽くすんでいます。保育園を休む日数が2日ほど短くなります。軽症化を含めると水痘ワクチンの有効率は90%です。

水痘ワクチンを受けていた子どもが水痘になっても、赤い発疹は出現しますが、ほとんど水疱はできません。水疱ができて小さく、水疱液から水痘ウイルスはほとんど分離されません。水痘ワクチンを受けた子どもが水痘になっても、周囲の友達に感染させる力は、初めてかかった子どもよりも弱いようです。

水痘の治療にはアシクロビルという良い抗ウイルス剤があります。発疹が出現した早い時期から治療を開始すると軽くなりますが、2日以上たってからではあまり効果が認められません。水疱が多い子どもには有効です。

最近子どもからウイルスをもらって水痘を発症する親を時々経験します。おとなが水痘になると、肺炎を合併するなど子どもよりも重たくなります。水痘の診断は小児科医が得意です。おとなでも怪しい発疹が出現したら小児科医に受診することを勧めています。おとなには早期診断、アシクロビルの早期服用を勧められています。

子どもが水痘にかかったとき、保護者の方から、「私水痘にかかっていないようです。どうしたらよろしいですか?」との相談を受けます。このような時は、急いで水痘ワクチンを受けることを勧められています。子どもと接触してから72時間以内ならば発症予防効果が期待でき、その後も軽症化が期待できます。

水痘で困ったときは、おとなも子どもも三重病院を受診してください。
(院長 庵原 俊昭)